



上神明だより

【11月号】

令和2年10月30日

品川区立上神明小学校

校長 松崎 行雄

コロナの災いから転じてよりよい教育活動を

校長 松崎 行雄

“新しい生活様式”を標榜して始まった2学期も、半分が過ぎました。本校でも、徹底した感染予防対策を講じてきました。登校時には担任が児童を誘導して、全員手洗いをさせてから教室に入れました。教室ではマスクを常時着用させ、密を避けた活動を心がけました。給食時には慎重に配膳し、無言の会食を徹底しました。手で多く触れる扉の箇所は、毎日朝夕2回消毒しました。

教育活動にも工夫を凝らしました。Zoomによる全校朝会で、人権を意識した講話を繰り返しました。運動会は、運動発表会として、低・中・高で時間を区切り、保護者の参観も完全入替制で行いました。学校説明会に代えて、学校説明動画をホームページにアップし、個別相談会を設定しました。

これまでを総括いたしますと、多くの制約がある中でも、一つ一つの取組を確実にねらい通りに実施して、大きな成果を収めることができましたといえます。例えば、運動発表会については、次頁にある通りに、保護者の皆様からとてもありがたいご意見をいただきました。各教科の授業では、重点単元等を設定してメリハリのある指導を展開し、現時点では、どの学年・教科においても遅れはありません。従来以上に補習も重点的にを行い、一人一人の児童にきめ細かく対応してきました。さらに、挨拶や言葉遣い、冬に向けた適切な服装などの生活指導も、ゆとりをもってしっかりと行えました。また、小規模校の強みを生かして、十分な対策の上で各学年1回の校外学習も無事に実施できました。

振り返ってみますと、教育活動の中身自体は、例年と比べて何の遜色もないと言えます。むしろ、今まで以上に衛生や健康に対する意識が高まった教育活動になっているのかも知れません。また、学校がこれまで長く行ってきた慣例を、いい意味で見直す機会になっていると思います。

学校は、子どもたちのために、いい方向に変わっていかないとはいませんが、学校だけの独善による変化ではいけません。保護者や地域の皆様の声に耳を傾け、その付託に応えていくことが大切です。そのために、コミュニティースクールの校区教育協働委員会でも、しっかりと熟議をしたり、学校経営方針をご承認いただいたりすることも大切です。

学校では、この時期から約半年をかけて、次年度の教育計画も検討していきます。半年の時間をかけて創り上げていきます。なぜ、それだけ時間をかけるのでしょうか。それは、現在と今後の課題をしっかりと見据えて、今とのつながりの中からよりよいものを生み出していくためです。コロナを単なる災いとして杞憂することで終わらせたくはありません。その災いからも、よりよいものを意地でも生み出していく覚悟をもって臨んで参ります。

11月・12月の行事予定

11月		
1	日	
2	月	全校朝会（放送） 生活科見学（1. 2・ほ1. 2）
3	火	文化の日
4	水	安全指導日 わくわくタイム
5	木	読み聞かせ 午前授業
6	金	クラブ 尿検三次 生活科見学予備日
7	土	土曜授業 3時間授業
8	日	
9	月	全校朝会（放送）
10	火	漢字検定
11	水	わくわくタイム 避難訓練
12	木	お話会
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	全校朝会（放送） 午前授業 個人面談①
17	火	午前授業 個人面談②
18	水	午前授業 個人面談③
19	木	午前授業 個人面談④
20	金	午前授業 個人面談⑤
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	全校朝会（放送）
25	水	わくわくタイム
26	木	
27	金	委員会
28	土	
29	日	
30	月	全校朝会（放送）

*（ ）内の数字は学年を表す

12月		
1	火	式典リハーサル①（4・5・6） 午前授業（1・2・3）
2	水	安全指導日 わくわくタイム
3	木	読み聞かせ
4	金	式典リハーサル②（4・5・6） 午前授業（1・2・3）
5	土	土曜授業（1・2・3休校日） 周年行事（4・5・6式典参加）
6	日	
7	月	全校朝会（放送）
8	火	避難訓練
9	水	わくわくタイム（開校記念 Zoom 集会）
10	木	お話会 保護者会（Zoom）
11	金	クラブ 脊髄側弯検診（5・ほ5・6対象者）
12	土	
13	日	
14	月	全校朝会（放送）
15	火	
16	水	わくわくタイム
17	木	開校記念日
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	全校朝会（放送）
22	火	
23	水	わくわくタイム
24	木	給食終
25	金	終業式、午前授業
26	土	冬季休業日始
27	日	
28	月	
29	火	
30	木	
31	金	

【運動発表会 低学年】

表現では、「ドラえもん」「鬼滅の刃」の2曲を発表しました。「ドラえもん」では、どこでもドア、タケコプター、ビッグライト、スモールライトの4つのひみつ道具を表す動きを入れていました。「鬼滅の刃」は、子どもたちに人気のあるアニメということもあり、練習の時からノリノリで、当日も身体いっぱい表現しました。

短距離走では1年生は40m、2年生はカーブありの50m走を行いました。また全員リレーでは、ゴール後に異例の再スタートを行うトラブルもありましたが、両チーム、リングバトンをつなぎきることができました。

個人的にも、表現2曲は初めてでした。「今の子どもたちの力を最大限発揮させたい」という思いで、低学年の担任も少し挑戦しました。 (2年1組担任 後藤竜大)

【運動発表会 中学年】

今年度、中学年は花笠音頭に挑戦しました。前半の踊りは、心を一つに動きを合わせて踊ることを意識して練習に取り組みました。また、後半の踊りはグループごとに振り付けを変えて、別々の踊りを披露しました。子どもたちは、休み時間に教室で自主的に練習しどんどん上手になりました。当日は、子どもたちの元気いっばいな掛け声と息の合った華やかな花笠音頭で、見ている人たちに笑顔を届けることができました。

また、全員リレーでは、アンカーまでバトンをしっかり繋ぐことをめあてにし、一人一人が全力で走ることができました。

運動発表会は、限られた時間の中で一つ一つのことに子どもたちが集中して取り組み、大きく成長する機会となりました。今後も学年の垣根を越えて、協力し高め合っていく予定です。 (4年1組担任 鈴木 みどり)

【運動発表会 高学年】

例年高学年が取り組んできた組体操も集団行動(行進)も鼓笛も今年度はありませんでした。でも、「私たちの一生懸命な踊りで見てくれる人を元気にさせよう。」と、ソーラン節の一つ一つの動きの意味を考え、ダイナミックな動きで表現することを心がけました。ソーラン節とは雰囲気異なるオープニングダンスにも挑戦しました。

雨が続き、校庭でほとんど練習できませんでしたが、みんなの気持ちは晴れやかで、当日「祝80周年」の旗をかかげて元気に掛け声をかけながら踊る子どもたちは、見る人に元気を送ることができたものと思います。

はじめて取り組んだ全員リレーでは、テークオーバーゾーンを十分に活用し、確実にバトンを次の人につなぐことを意識して練習しました。両チームとも勝ち負け関係なく全力で走った姿に、5年生にも6年生にも成長を感じました。

(6年1組担任 大間 孝子)

【社会科見学】

10月5日（月）に6年生は国会議事堂、憲政記念館、警視庁本部を見学しました。国会では、代表児童が国会議員役となって「自動車リサイクル法案」について審議した後、全員が賛成反対の投票ボタンを押してその法案を採決する様子の後実際に参議院の本会議場を見て、重厚な趣のある建物の

警視庁本部では、東京都東部の110番通報が全てつながる通信指令センターで、実際に通報を受けている様子を見学しました。1日平均5000件も通報があるそうです。

自分たちの生活につながる日本の政治や安全を担う施設を見学し、日々のニュースや社会科の学習にもさらに興味を深めることのできた1日でした。



（6年1組担任 大間 孝子）

【運動発表会 保護者の皆様の声】

- ◆コロナ禍の中、大変なご努力と調整で運動発表会を実施して下さいと思っています。ありがとうございました。みな可愛く感動しました。【1年】
- ◆行事が苦手だった娘が生き生きとダンスをして、一生懸命に走る姿に感動しました。成長を感じて嬉しい1日でした。実施していただきありがとうございました。【1年】
- ◆例年ですと、運動会の日はお弁当を作るのに忙しくしているのですが、今年は席に着いて落ち着いて集中して観られてよかったです。今後の運動会に、このような形を取り入れていただいても良いのかも知れないと思いました。【2年】
- ◆感染症対策の中、開催していただき感謝しています。内容も充実していて、他校の保護者に話すと驚かれました。子どもの心の成長も感じることができて感謝です。【2年】
- ◆全員リレーは見応えがあり、ドキドキしながら応援しました。関係者の皆様、先生方、運動会の準備、片付け、感染対策などを重ねていただき、感謝申し上げます。【3年】
- ◆コロナ禍で大変な中、とても感謝するとともに、先生方の尽力が見えました。内容も充実していて観やすかったです。【4年】
- ◆コロナのためにいろいろと配慮いただき感謝致します。例年とは全く違いましたが、ゆったりと子供達の姿を観ることができて、親にとってはありがたい形式でした。【5年】
- ◆制約が多い中での運動発表会でしたが、とても感動いたしました。子供達の元気な姿に希望を感じました。残り少ない学校生活を大切にしてほしいです。【6年】
- ◆また一つとても嬉しい思い出を残せたこと、子供の成長を目の前で見られたことがすごくありがたいです。一生懸命に取り組む子供らしい表情や姿を見て、温かい涙が込み上げてきたほどに感動しました。【6年】

=====
<校長>たくさんのご感想をありがとうございました。子供たちの頑張る姿が皆様の心に届いたことが、何よりも嬉しいです。私たち教職員も勇気と希望をいただきました。